

厳しい指導を超えて

経済学部経済学科 勝本汰一
(京都府立 東陵高等学校出身)

1. 大学入学前はどのように過ごしていましたか

高校時代はサッカー部に所属していましたが、怪我の影響で思うような結果を出せず、大きな挫折を経験しました。勉強に関しては、得意な科目と苦手な科目の差が大きく、苦手な科目を勉強していると集中力が続かず伸び悩みました。周りからは「あと一歩なのに」とよくいわれ、悔しさを感じていました。今になってみると、大学生活を通じてこれら挫折感をバネにして、自らの弱さを克服できたのだと感じています。実は、上級キャリアコース(以下、上キャリ)にはこのタイプの学生が多いです。

2. 上級キャリアコースに入ったきっかけ・理由は？

オープンキャンパスで、上キャリの存在を知りました。入学後のコース説明会では、輝かしい学業・就職成果と共に厳しい指導方針についての説明もありましたが、自身の将来を考えると参加しないという選択肢はありませんでした。なお、上キャリへの参加を希望している人は、このHPを隅から隅までチェックしておいてください。参加が決定した時点で、教育の在り方などを含めた上キャリの指導方針を受諾したものとみなされます。参加後は自身の意思で辞めることはできませんが、教員サイドから離脱を勧告されることはあります。

3. 上級キャリアコースは厳しいのか？

厳しいです。しかしながら、その厳しさは大学生にふさわしい能力・スキルを身に着けるために必要とされるものです。コースに入った直後は、「なぜ、そこまで細かいことをいうのか」とか「もう少し大目にみてくれないのか」と思うこともありました。就活を終えた今感じているのは、それらは社会人基準でいうと当たり前あるいは常識だったということです。いい換えると、「(一流の)社会人としてダメなことは、上キャリでもダメ」ということです。新入生にはなかなかハードルが高いかもしれませんが、上キャリで頑張りたいのであれば基礎中の基礎です。また、上キャリでは「できることだけでも頑張ろう」というスタンスはまったく採っていません。「やるべきことはすべてノルマとして達成せよ」というスタンスです。いずれも、本気なら耐えられるはずです。

4. 上級キャリアコースで活躍するタイプは？

主体性を持ち、積極的に行動できる人です。例えば、あなたが教室にやってきたとき、まだ他に誰もいないとします。教室の電灯は付いていません。どうしますか？もし、あなたが時間をつぶすために携帯をいじり始めたとすれば、上キャリ的には一発アウトです。解答はご自身で考えてください。上キャリでは、この種の常識が強く求められると共に、それを迅

速に行動に移す力が求められます。

5. 上級キャリアコースの強みは？

上キャリアの最大の強みは、先輩・後輩間の繋がりです。複数の学年が同時に参加する課外特別講義や合宿など、タテの繋がりを強化するイベントはたくさんあるのですが、これらの場では既に高い成果を上げている先輩たちから、勉強方法や就活について親しく話を聞くことができます。つまり、上キャリアにいれば、すぐ身近に成功者がおり支援してくれるということになります。しかも、高校以前の境遇は先輩も後輩も似たようなものですので、後輩の立場をわかった上でのアドバイスが期待できます。

ただし、この種のアドバンテージを活用するためには、先に触れた主体性や積極性にくわえて社交性やコミュニケーション能力が求められます。別の表現をすると、もしあなたが課外特別講義や合宿などに参加したくないと思うのであれば、あなたは上キャリアにはまったく向いていません。上キャリアにいる権利があるのは、これら講義や合宿を「楽しそう！」と思える人のみです。

6. コースの先生ってどんな人？

どの先生も、学生一人ひとりに寄り添ってくださります。また、まじめに取り組むべき時と楽しむ時のメリハリを大切にされているように思います。割と熱血漢の先生が多く、「諸君が真剣に取り組み続ける限り、我々は最大限の熱意を持って対応し続ける」というタイプが多いです。学生 - 教員間はとても仲がよいのですが、背景には両者が自身の責務をまっとうしているが故に生じる強い信頼感があるのだと考えます。